

東京大学における国際化・ 国際協力への取り組み

東京大学 理事・副学長
田中 明彦

「東京大学における国際化・国際協力への取り組み」 目次

1. 留学生・研究者交流の状況

- (1) 外国人留学生受入数推移
- (2) 外国人研究者・外国への研究者派遣、外国籍教員の統計資料

2. 東京大学の海外拠点

・ 北京代表所 ・ インドオフィス ・ 東大 - イェール・イニシアティブ

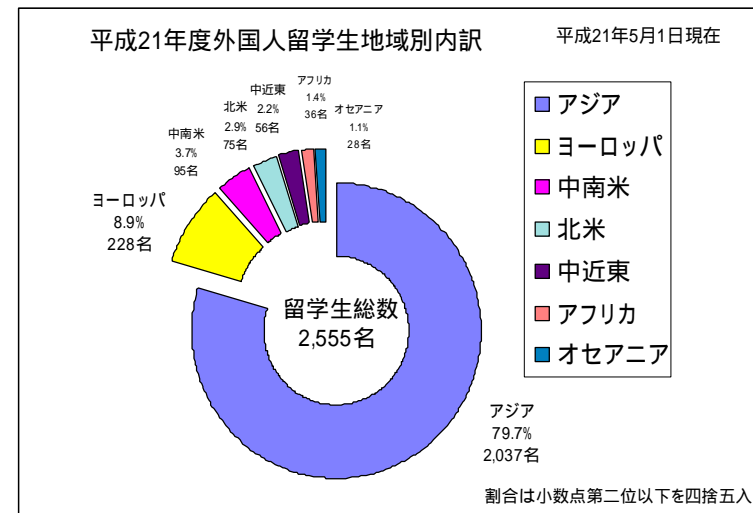
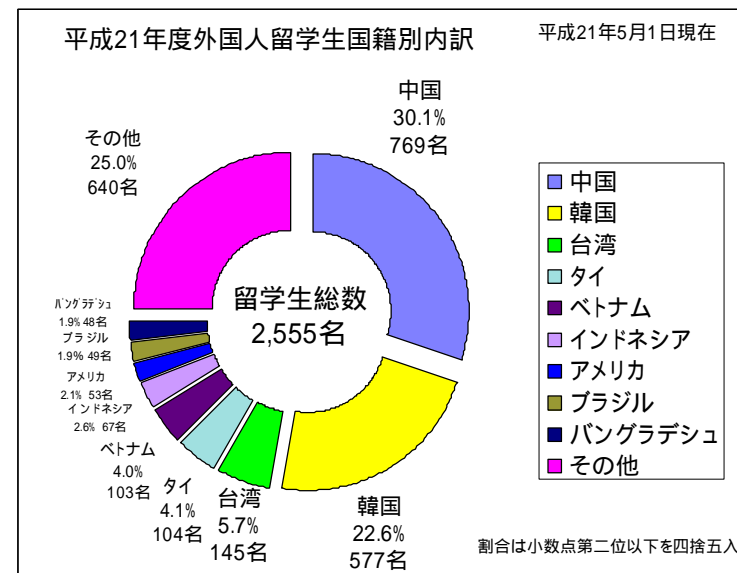
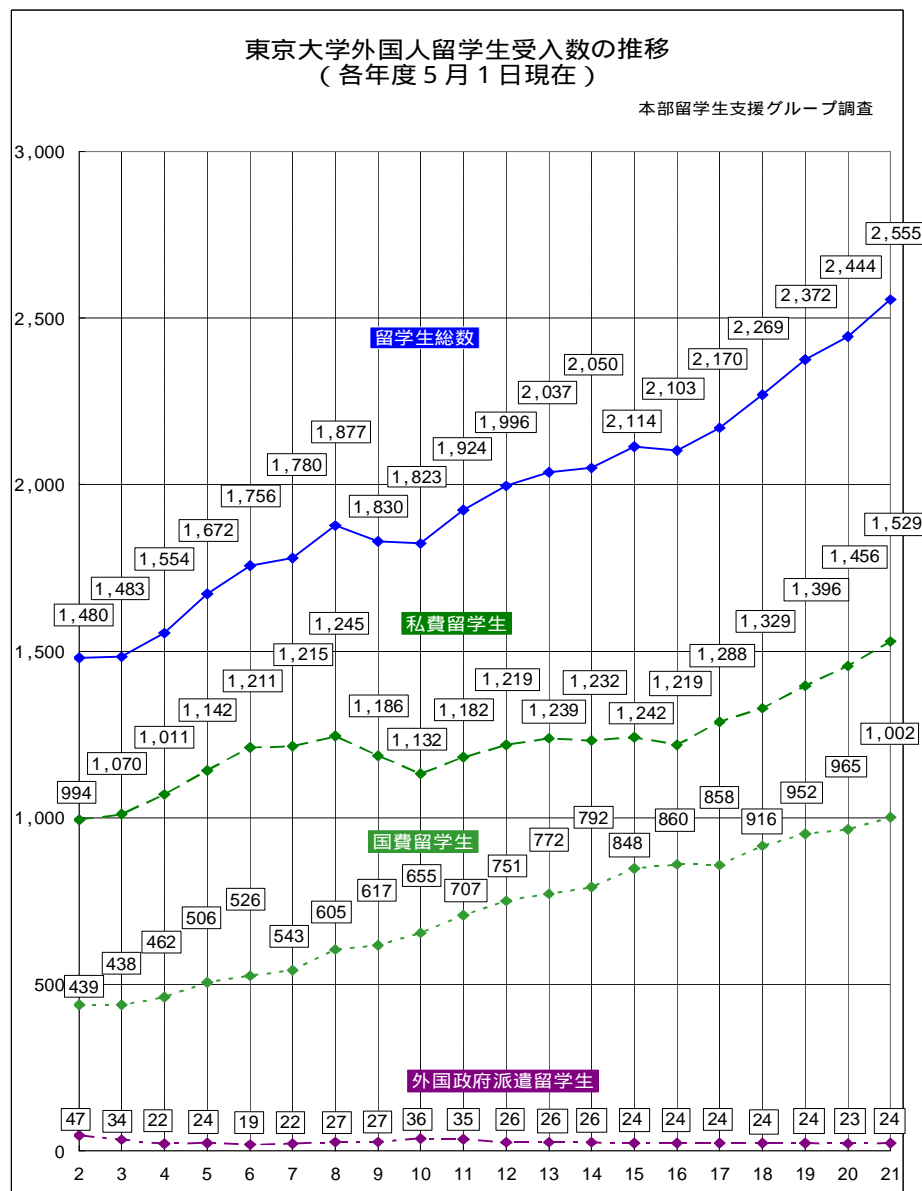
3. 多大学間交流・協力事業

- (1) G8大学サミット
- (2) 国際的大学間ネットワーク
IARU(International Alliance of Research Universities) 、APRU(Association of Pacific Rim Universities)
AEARU(The Association of East Asian Research Universities) 、BESETOHA(東アジア四大学フォーラム)
- (3) 国際的教育研究ネットワーク
ASNET(Asian Studies Network) 、AGS(Alliance for Global Sustainability)
- (4) 国際学術交流協定締結数推移(グラフ) (5) 東大フォーラム

4. 学内における国際研究プロジェクトへの取り組み

- (1) 数物連携宇宙研究機構
- (2) 医学教育国際協力研究センター
- (3) 高齢社会総合研究機構
- (4) グローバルCOE
- (5) JST - JICA地球規模課題対応国際科学技術協力事業

1. 留学生・研究者交流の状況 (1) 外国人留学生受入数推移



1. 留学生・研究者交流の状況

(2) 外国人研究者・外国への研究者派遣、外国籍教員の統計資料

外国籍の教職員の出身地域別分布(1)

外国籍の教職員の分布(職階・出身地域別)

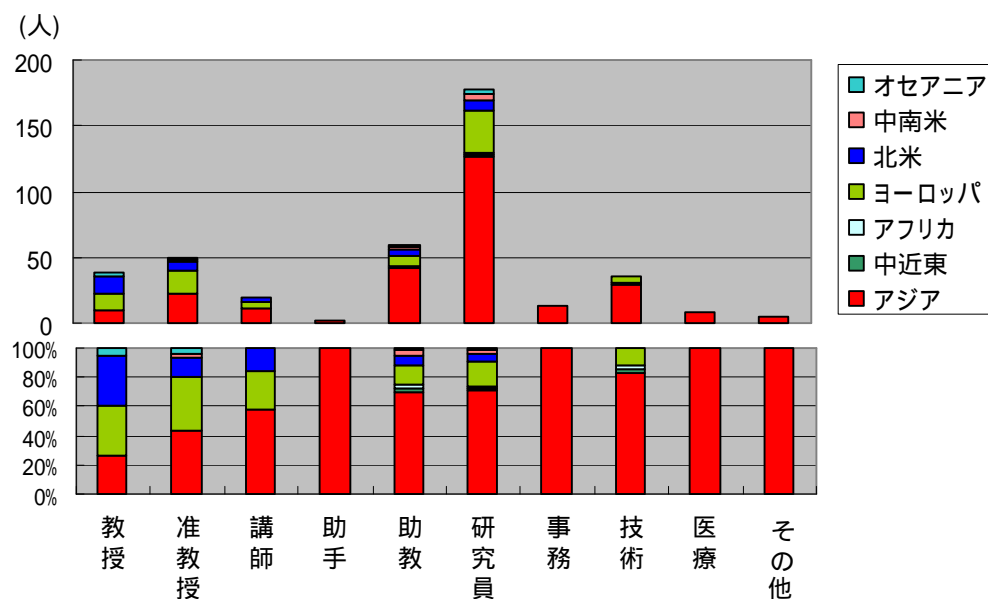


図1 外国籍の教職員の分布(職階・出身地域別)

外国籍の教職員の出身地域

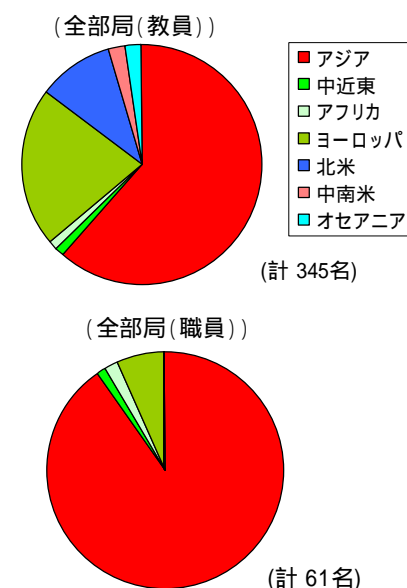


図2 外国籍の教職員・職員の出身地域

1. 留学生・研究者交流の状況

(2) 外国人研究者・外国への研究者派遣、外国籍教員の統計資料

外国籍の教職員の出身地域別分布(2)

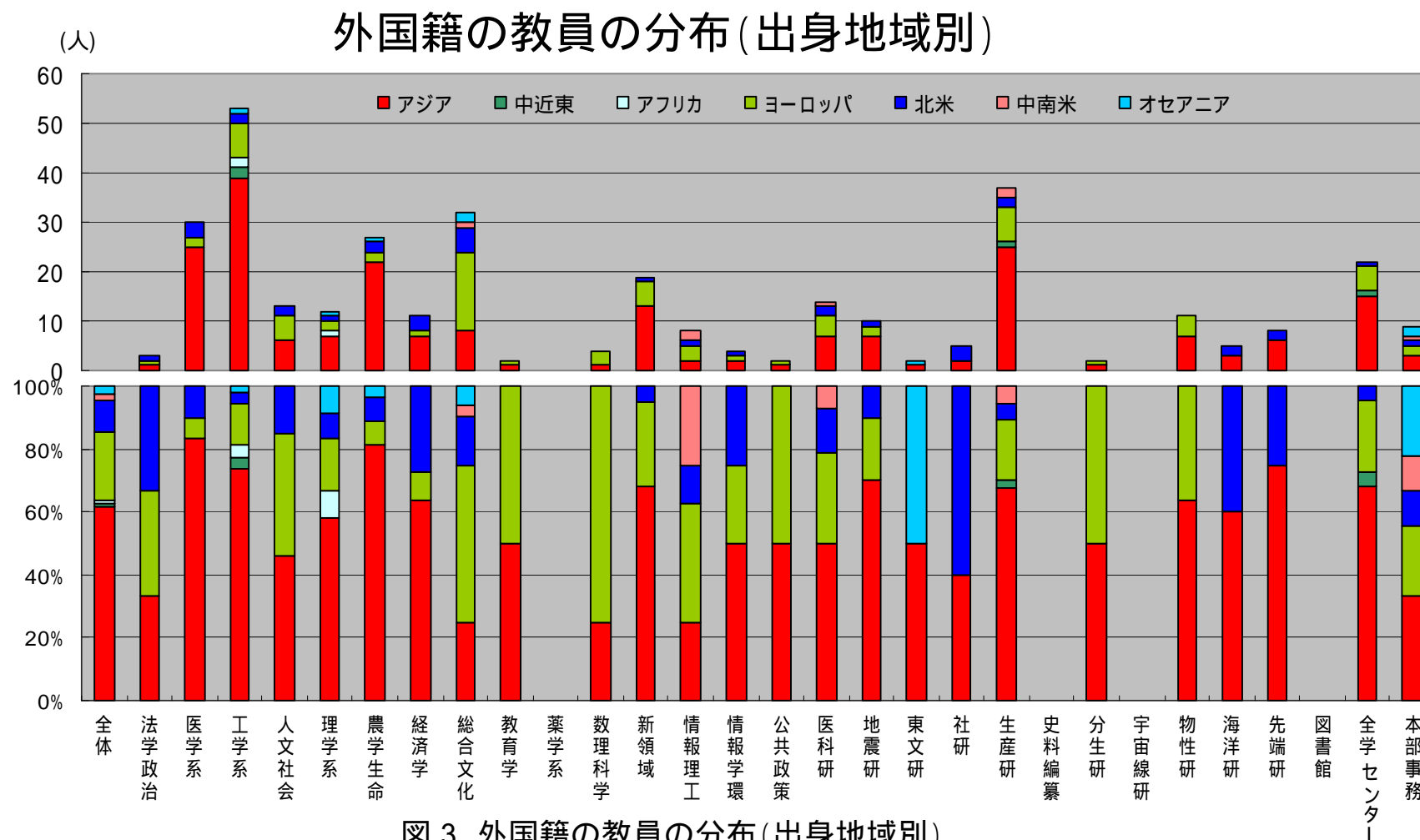


図3 外国籍の教員の分布(出身地域別)

(出典)「東京大学国際化白書(本編)」2009年3月調査報告 第3章

1. 留学生・研究者交流の状況

(2) 外国人研究者・外国への研究者派遣、外国籍教員の統計資料

外国人研究者の受入

外国人研究者受入数の推移(滞在期間別)

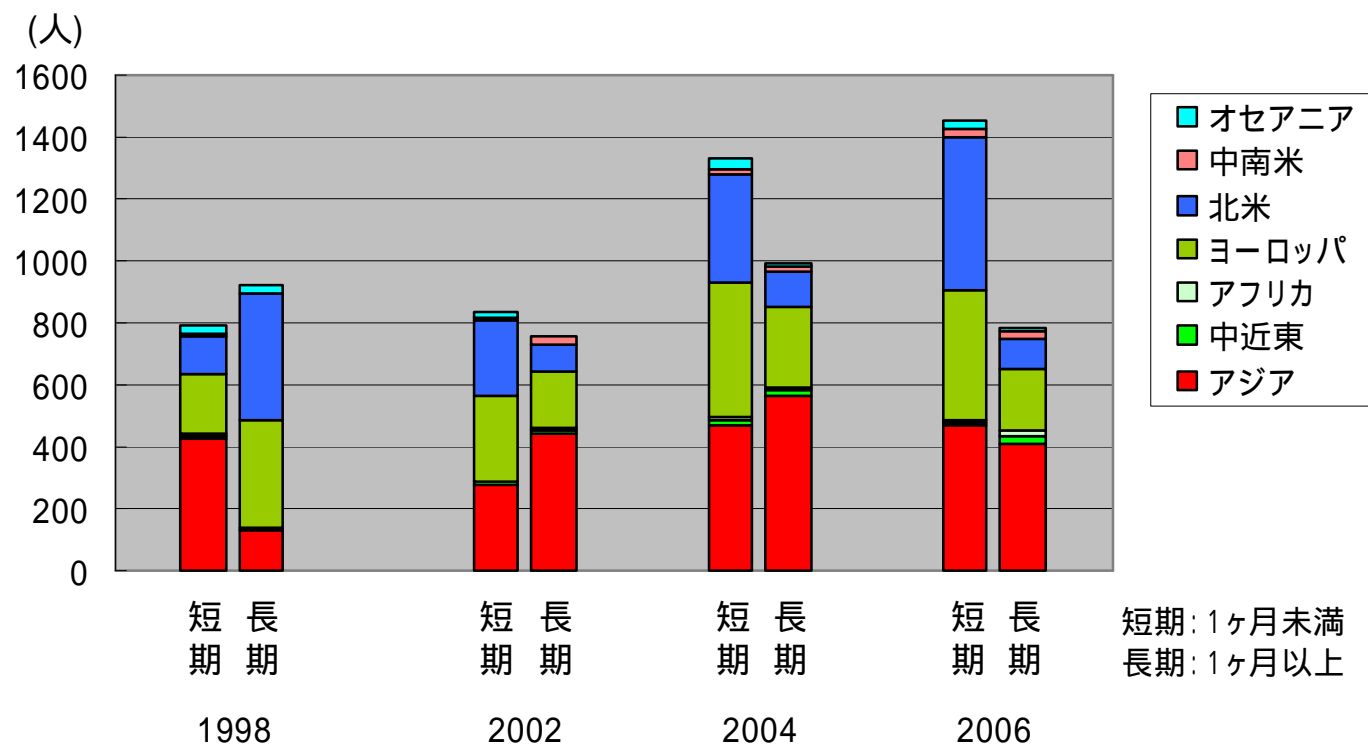


図4 外国人研究者の受入数の推移(滞在期間別)

1. 留学生・研究者交流の状況

(2) 外国人研究者・外国への研究者派遣、外国籍教員の統計資料

研究者の派遣

研究者派遣数の推移(滞在期間別)

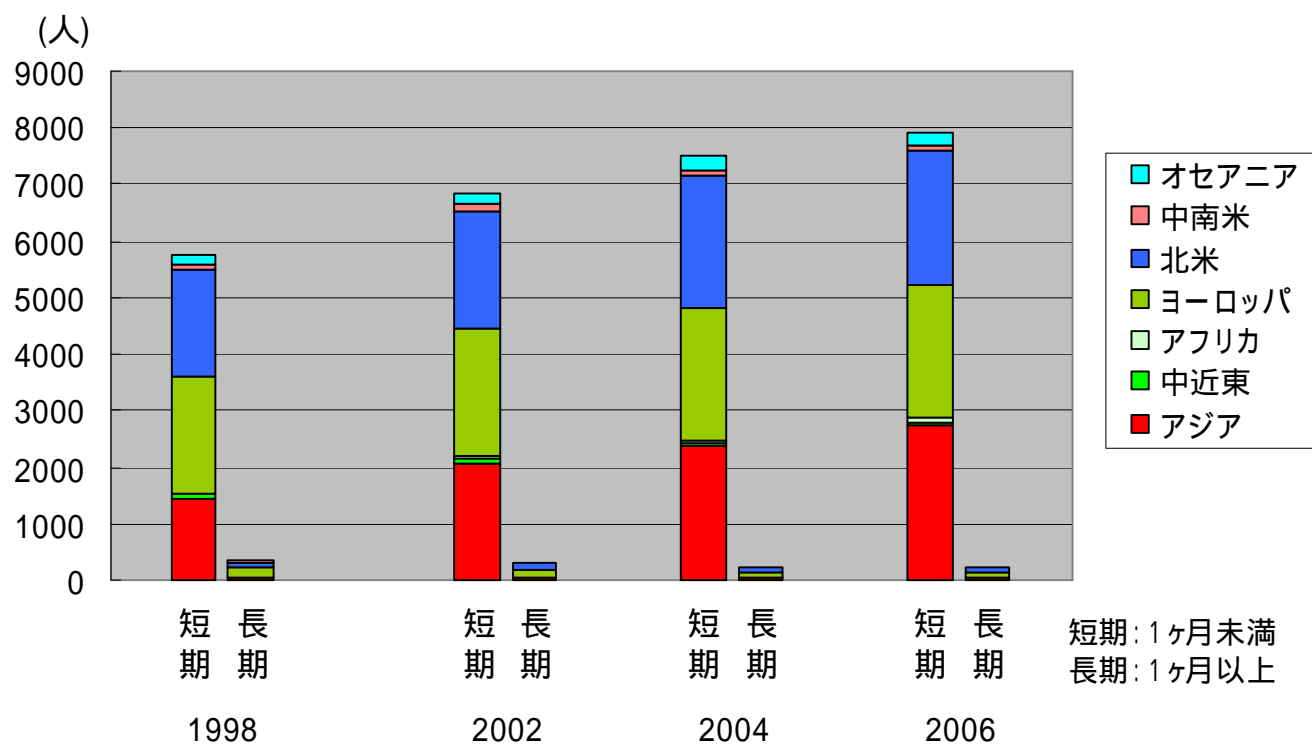


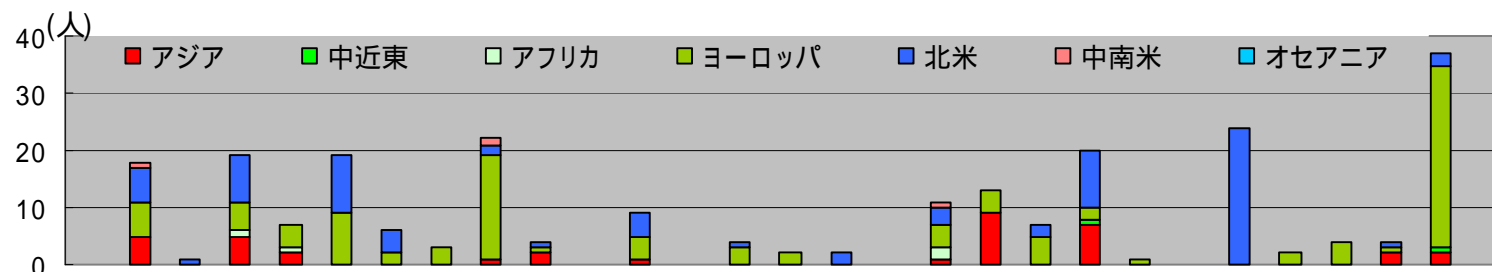
図5 研究者派遣数の推移(滞在期間別)

1. 留学生・研究者交流の状況

(2) 外国人研究者・外国への研究者派遣、外国籍教員の統計資料

2006年度に派遣した研究者数

2006年度に派遣した研究者数(出身地域別)(長期:1ヶ月以上)



2006年度に派遣した研究者数(出身地域別)(短期:1ヶ月未満)

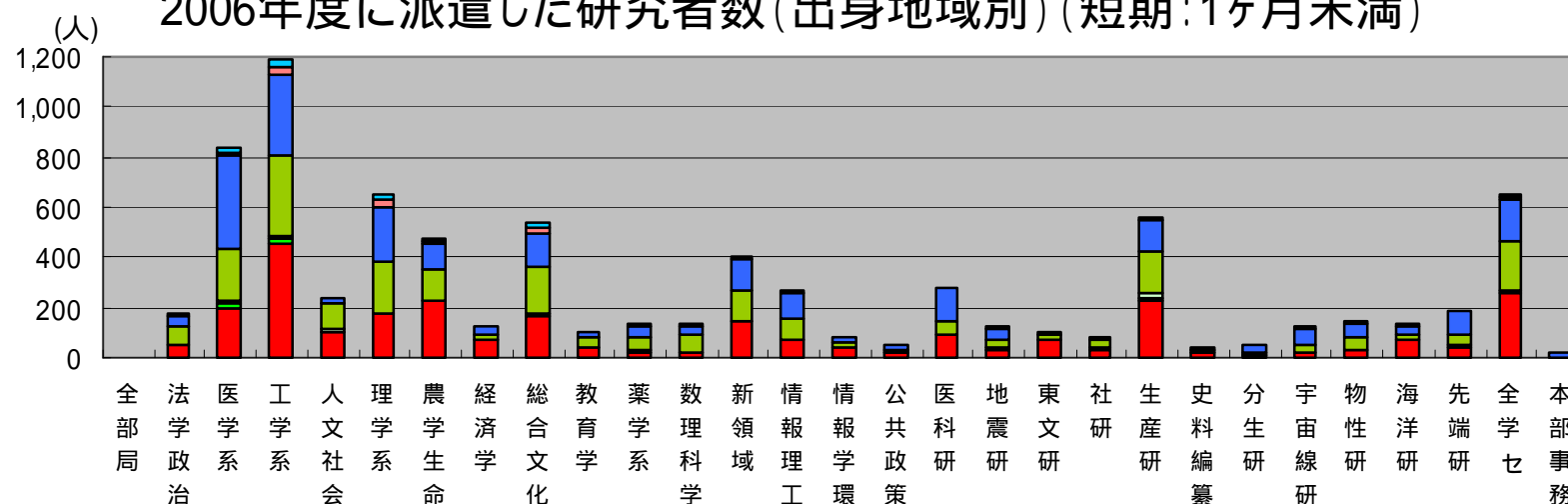
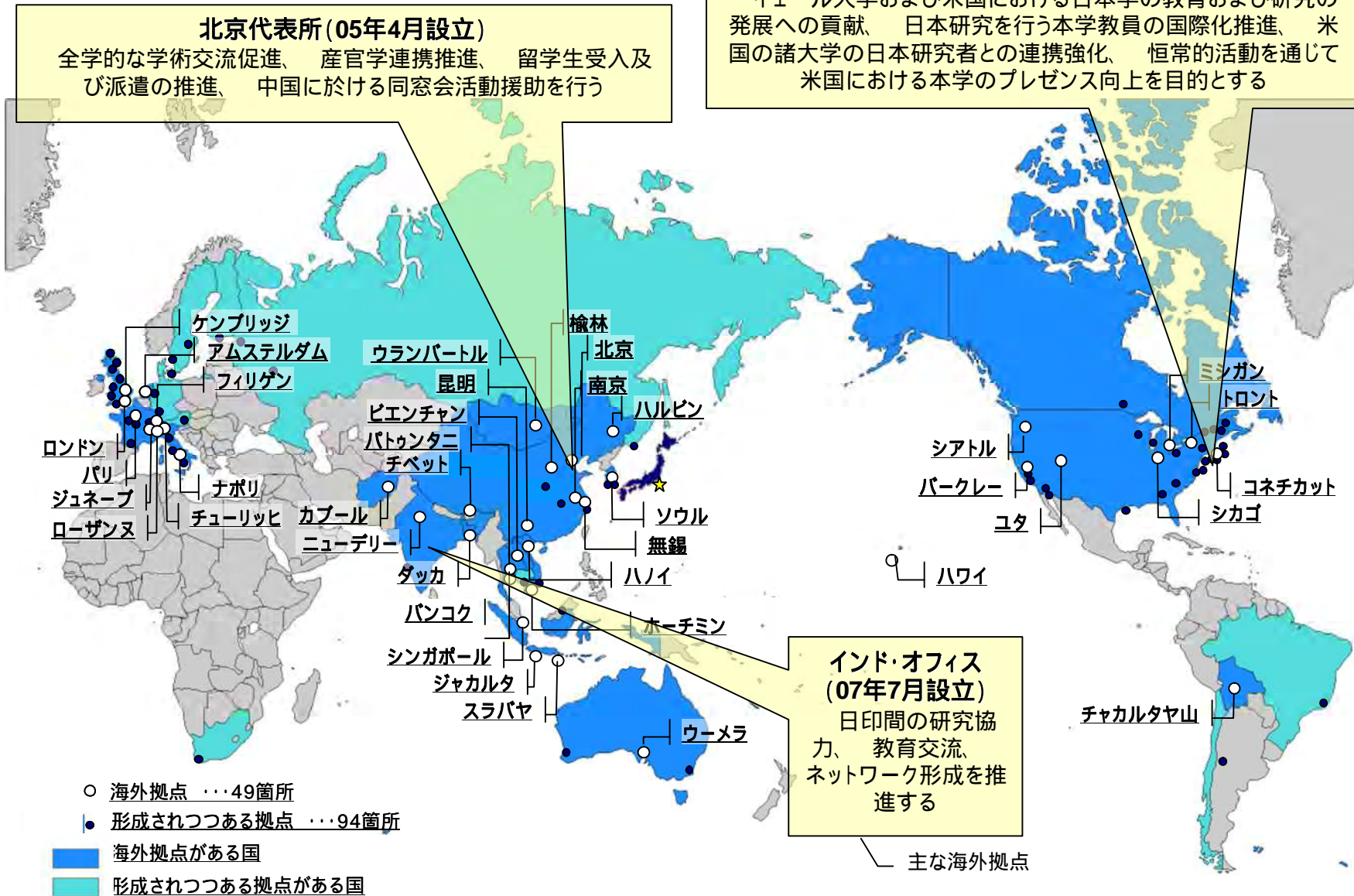


図6 2006年度に派遣した研究者数(出身地域別)(上図:長期(1ヶ月以上))

図7 2006年度に派遣した研究者数(出身地域別)(下図:短期(1ヶ月未満))

2. 東京大学の海外拠点



平成21年5月1日時点 * 同地点に複数の拠点が存在するところもあります。

G8大学サミットの概要

G8大学サミットとは

- 東京大学が中心となり、**G8諸国及び新興6カ国の主要大学に呼びかけ、文部科学省の協力の下、2008年に初めて開催された。これまでに計2回開催されている。**

第1回(2008年6月29日～7月1日:札幌市)

- テーマ:「グローバル・サステナビリティと大学の役割」
- 参加大学・機関: G8諸国の27大学、新興6カ国の7大学及び国連大学の計35大学が参加。

第2回(2009年5月17日～19日:イタリア・トリノ)

- テーマ:「Promotion and Implementation of Sustainable and Responsible Development through Education」
- 参加大学・機関: G8諸国の24大学、非G8諸国の12大学及び国連大学の計37大学に加え、3の高等教育関連機関が参加。

第3回(2010年5月カナダにて開催予定)

G8大学カウンスル

- 東京大学は、G8大学サミットへの助言、他の機関との連携、学生会議の企画等を行うG8大学カウンスルの事務局を担っている。

3. 多大学間交流・協力事業 (2) 国際的大学間ネットワーク

IARU (国際研究型大学連合)

目的

さまざまな分野で共同研究の展開、フローバルサマープログラムの企画・開催を行い、学生を交互に派遣することで、世界の一流大学の学生の交流を推進する。

メンバー大学

オーストラリア国立大学(ANU)、シンガポール国立大学(NUS)、北京大学、スイス連邦工科大学チューリッヒ校(ETHZ)、カリフォルニア大学バークレー校、ケンブリッジ大学、コペンハーゲン大学、オックスフォード大学、東京大学、イェール大学

APRU (環太平洋大学協会)

目的

環太平洋地域の各国の高等教育の相互協力関係を強め、環太平洋地域社会にとって重要な諸問題に対し、教育・研究の分野から協力・貢献する。

メンバー大学

オーストラリア国立大学、シドニー大学、メルボルン大学、プリティッシュコロンビア大学、チリ大学、復旦大学、北京大学、清華大学、中国科学技術大学、浙江大学、南京大学、香港科学技術大学、香港大学、国立台湾大学、インドネシア大学、京都大学、大阪大学、東京大学、早稲田大学、慶応義塾大学、東北大学、ソウル大学校、高麗大学校、マラヤ大学、メキシコ大学、モンテレー工科大学、オークランド大学、フィリピン大学、極東国立総合大学、国立シンガポール大学、チュラロンコン大学、カリフォルニア工科大学、スタンフォード大学、カリフォルニア大学バークレー校、カリフォルニア大学デイヴィス校、カリフォルニア大学アーバイン校、カリフォルニア大学ロサンゼルス校、カリフォルニア大学サンディエゴ校、カリフォルニア大学サンタバーバラ校、オレゴン大学、南カリフォルニア大学、ワシントン大学

AEARU (東アジア研究型大学協会)

目的

教官や学生の交流、共同研究における協力、国際会議の共同開催などにより、東アジアの主要な9研究型大学間の交流を促進する。

メンバー大学

復旦大学、清華大学(北京)、中国科学技術大学、北京大学、南京大学、韓国科学技術学院、浦項工科大学、ソウル国立大学、香港科技大学、清華大学(新竹)、台湾大学、東京大学、筑波大学、大阪大学、東京工業大学、京都大学、東北大学

BESETOHA (東アジア四大学フォーラム)

目的

四大学が一堂に会するフォーラムの開催等により、東アジアを代表する四大学の代表が、大学教育とリわけ基礎教育の現状と未来像を共同で考究する。

活動

北京大学、ソウル大学校、東京大学、ベトナム国家大学ハノイ校

(3) 国際的教育研究ネットワーク

ASNET (日本・アジアに関する教育研究ネットワーク)

目的

東京大学において、日本・アジアと接点を持つ教育研究に従事している研究者間の研究協力や、情報交換を容易にし、新しい教育や研究の可能性を探る。

活動

- ・ウェブサイト、メーリングリスト、メールマガジンを整備
- ・大学院向け教育活動として「日本・アジア学講座」を開講
- ・「アジアの食文化とグローバリゼーション」談話会

AGS (人間地球圏の存続を求める大学間国際学術協力)

目的

人類の持続的発展という目標に向かって、四大学が協力して地球環境の改善に向けた研究、将来の世界を担う若者の教育を行う。

活動

東京大学・マサチューセッツ工科大学(アメリカ)・スイス連邦工科大学(スイス)・チャルマーズ工科大学(スウェーデン)